

小銭が入った財布を持って出る、というのが私の外出習慣でしたが、今春から近場への外出では、プリカ（プリペイドカード）を持って出ると、ガムを買うようなことをしても、小銭の管理がないのが気に入って、ポケットもすっきりでこれで行こう、と思っている私です。

クレジットカードは家にあり、ネットでの買い物には使っている、もう長いこと持っていた記憶がなく、現金主義で来ていた私がプリカへ変えたきっかけは、マイナポイントの出現で、役所での＜マイナポイント受け取りのための登録手続き＞をすると、2万円分のポイントが付与されるということで、やってみようと思ったことでした。

ポイントの受け取り方法を調べて、近くの店で、買い物に使っていたポイントカードをプリカに切り替えてもらい、それを区役所で登録してもらったところ、プリカの残高が2万円増えており、貰ったお金は使ってこそ世の中が回ってお役に立つのだろうと思い、プリカの使い勝手を調べてみたところ、最近では、近所のコンビニやスーパー、飲食店で、同じプリカを台に乗せるだけで、暗証番号の入力もせずに、支払いができる場所が増えていくと知り、試して確認して、これからはこれでいこうということになったものですが、ナマケモノに学び始めた八十路としては、ちょっと幸せな感じです。

以前から、便利さを享受してきたプリカに Suica があり、車の運転を止めた後の実家への往復なども Suica 1 枚でいけるのがありがたいですが、Suica は、長い間、電車とバス料金だけに使っており、他には使えないと思っていたところ、これも変わって来ているようで、近所の販売店はまだ扱っていないものの、いつも歩いてからコーヒーを飲みながら一休みする森林公園で、広場に3つある飲料自販機の1つに、電子マネーが使える、の表示が貼ってあるようになり、6つの選択表示があるプリカの中に、Suica も入っていたことに気が付きました。

もっとも、私が気に入っている1杯100円の引き立てコーヒーの自販機は、まだ現金売りだけなので、しばらくは、プリカの他に、別のポケットに100円玉一つが残り、やがて小銭を持たない日が近いだろうと思っているのですが、そんな話を先週コロナ自粛の後で久しぶりに来訪があった娘家族にすると、カードの他に、スマホでの決済も日常化しているから、世の中の変化を実感した次第です。

以上